

異分野融合ワークショップ

多階層生命機能の理解へ向けた研究の最前線

2018年3月6日(火)13:00~17:20

バイオ棟 D105 会議室

- 13:00-13:30 笹井 紀明 (本学・バイオサイエンス研究科)
「オープニング」「組織形成におけるシグナル系のダイナミクス」
- 13:30-14:10 浅川 和秀 (国立遺伝学研究所)
「ゼブラフィッシュ筋萎縮性側索硬化症 (ALS) モデルを用いた運動ニューロン病の原因究明」
- 14:10-14:40 吉本 潤一郎 (本学・情報科学研究科)
「機械学習から迫る情動のしくみ」
- 14:40-15:20 山崎 匡 (電気通信大学)
「高性能神経計算: 計算神経科学と高性能計算の融合によるヒトスケール脳神経回路シミュレーション」
- 休憩 —
- 15:35-16:05 松井 貴輝 (本学・バイオサイエンス研究科)
「神経情報伝達と器官形成」
- 16:05-16:35 松原 崇充 (本学・情報科学研究科)
「確率推論による強化学習とロボットの行動学習」
- 16:35-17:15 渡邊 毅一 (カリフォルニア工科大学)
「シヨウジョウバエをモデルとした社会行動を制御する神経回路基盤の解明」
- 17:15-17:20 総合討論・クロージング (松井 貴輝)

生体内の複雑な器官の構築や機能を正確に理解するには、従来の生物学的実験手法に加え、機械学習やシミュレーションを用いたコンピューター解析など、異分野の研究者が協力しあって研究を展開することが不可欠です。このシンポジウムでは、本学の准教授陣に加え、この分野の第一線で活躍されている研究者を国内外からお呼びして、活発な議論を行います。当日は全参加者が自由に発言して新しいものを生み出すことを目指します。奮ってご参加ください。

(世話人: バイオサイエンス研究科・発生医科学 笹井紀明)